勉誠社

第69回国際東方学者会議
特別割引のご案内

全品20%OFF

割引クーポンコード: 1acc170c9e
（期限：～2025年6月末日）

謹啓

日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠社タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

https://bensei.jp

各種クレジットカード、paypal（クレジットカード・デビットカード）でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード：1acc170c9e（期限：～2025年6月末日）

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！
未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

・送料
6,000 円（税込）未満の購入　→　送料 600 円
6,000 円（税込）以上の購入　→　送料無料
（※海外への配送に関しては、実費を頂戴します）

＊ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
東方學會の会員であることをお知らせください。

●ご連絡先
Mail　info@bensei.jp
電話　03-5215-9021
FAX　03-5215-9025

【勉誠社】展示書籍リスト

書名	著者名	刊行年	ISBN	定価（税込）	割引価格	注文数
宋代士大夫官僚の基層社会と構造	伊原弘　著	2025/04	32049-4	13,200	10,600	
増補改訂版　道教美術の可能性	齋藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明　編	2025/04	37019-2	3,300	2,600	
道教文化と日本―陰陽道・神道・修験道	日本道教学会　編	2025/03	31020-4	4,180	3,300	
中国の女性演劇―越劇とジェンダー	中山文　著	2025/03	37018-5	8,250	6,600	
地方史誌から世界を読む―地方史誌から世界を読む	小二田章　編	2025/01	32064-7	8,800	7,000	
日本人の読書　新装版―古代・中世の学問を探る	佐藤道生　著	2025/01	39047-3	11,000	8,800	
新装版　数と易の中国思想史―術数学とは何か	川原秀城　著	2024/12	81045-2	7,700	6,200	
古文書研究　第98号	日本古文書学会　編	2024/12	32408-9	4,180	3,300	
近世日本邪正論―江戸時代の秩序維持とキリシタン・隠れ／隠し念仏	大橋幸泰　著	2024/11	32058-6	11,000	8,800	
帝鑑図と帝鑑図説―日本における勧戒画の受容	小助川元太・薬師寺君子・ 野田麻美・水野裕史　編	2024/11	37017-8	16,500	13,200	
増補改訂版　東インド会社とアジアの海賊	東洋文庫・斯波義信・平野健一郎・ 羽田正　監修／牧野元紀　編	2024/09	32056-2	3,520	2,800	
近世長崎渡来人文運史　言語接触と文化交流の諸相	若木太一　著	2024/06	32044-9	14,300	11,400	
和紙を科学する　製紙技術・繊維分析・文化財修復	大川昭典　著	2024/06	35002-6	4,620	3,700	
日本人は漢文をどう読んだか―直読から訓読へ	湯沢質幸　著	2024/05	38006-1	3520	2,800	
中国古典戯曲演劇論	岡晴夫　著	2024/04	37015-4	16500	13,200	
器と信仰―東アジアの舎利荘厳をめぐる 美術史・考古学からのアプローチ	加島勝　編	2024/03	32041-8	16500	13,200	
「見える」ものや「見えない」ものをあらわす ―東アジアの思想・文物・藝術	外村中・稲本泰生　編	2024/03	37012-3	15400	12,300	
本　かたちと文化―古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館　編	2024/02	30011-3	3,080	2,500	
コレクションと歴史意識―十九世紀日本の メディア受容と「好古家」のまなざし	古畑侑亮　著	2024/02	32038-8	11,000	8,800	
朝鮮時代ソウル都市史	高東煥　著／野崎充彦・金子祐樹　訳	2024/02	32039-5	9900	7,900	
泰山諸神の信仰の展開―東岳大帝から碧霞元君へ	二ノ宮聡　著	2024/01	31018-1	8,800	7,000	
訂正新版　図説　書誌学―古典籍を学ぶ	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫　編	2023/12	30010-6	3,850	3,100	
国宝「三十帖冊子」　修理から見えてきたもの	総本山仁和寺　監修／宇都宮啓吾　編	2023/12	31012-9	13,200	10,600	
紙のレンズがひらく古典籍・絵画の世界	江南和幸・佐藤悟・横井孝 （新コディコロジー研究会）　編	2023/11	39036-7	4,950	4,000	
東アジアの王宮・王都と仏教	堀裕・三上喜孝・吉田歓　編	2023/10	32032-6	13,200	10,600	
江戸時代初期出版年表〔天正十九年～明暦四年〕 （オンデマンド版）	岡雅彦・市古夏生・大橋正叔・岡本勝・ 落合博志・雲英末雄・鈴木俊幸・堀川貴司・ 柳沢昌紀・和田恭幸　編	2023/10	80452-9	27,500	22,000	
地方史誌から世界史へ―比較地方史誌学の射程	小二田章　編	2023/06	32028-9	8,800	7,000	
中国古典をどう読むか―規範からの逸脱、規範への回帰	下定雅弘　著	2023/06	39027-5	4,180	3,300	
輞川図と蘭亭曲水図―イメージとテクストの交響	野田麻美・静岡県立美術館　編	2023/05	37009-3	10,450	8,400	
モノと権威の東アジア交流史―鑑真から清盛まで	シャルロッテ・フォン・ヴェアシュア　著	2023/04	32022-7	5,280	4,200	
グレーゾーンと帝国―歴史修正主義を乗り越える生の営み	髙綱博文・門間卓也・関智英　編	2023/03	32027-2	5,720	4,600	
江戸時代前期出版年表〔万治元年～貞享五年〕	岡 雅彦　編	2023/03	32029-6	35,200	28,200	
黄泉の国との契約書―東アジアの買地券	稲田奈津子・王海燕・榊佳子　編著	2023/03	32030-2	4,180	3,300	
二一世紀の川劇―文化資源化の視点から	江玉　著	2023/03	37007-9	7,480	6,000	
文と書―中国書字思想の探究	亀澤孝幸　著	2023/03	37008-6	8,800	7,000	
日ソ戦争史の研究	日ソ戦争史研究会　編	2023/02	32026-5	13,200	10,600	
宣教師の日本語文学　研究と目録	郭南燕　編著	2023/02	39026-8	12,100	9,700	
新羅政治社会史研究	武田幸男　著	2022/12	32024-1	13,200	10,600	
もやもや日本近代美術―境界を揺るがす視覚イメージ	増野恵子・安松みゆき・河田明久・志邨匠子・ 瀧井直子・奥間政作・石井香絵　編	2022/12	37004-8	5,280	4,200	
地域文化の可能性	木部暢子　編	2022/05	32015-9	2,970	2,400	
入門　中国学の方法	二松學舍大学文学部中国文学科　編	2022/04	30005-2	1,760	1,400	
宋版一切経（福州版）調査提要	福州版一切経調査研究会　編	2022/03	31010-5	7,150	5,700	
中国道教美術史　漢魏晋南北朝篇	李松　著／土屋昌明・齋藤龍一　監訳／ 廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美　訳	2022/02	37001-7	38,500	30,800	

コレクションとアーカイヴ	板倉聖哲・塚本麿充　編	2022/01	37000-0	10,450	**8,400**	
中国史書入門　現代語訳　北斉書	氣賀澤保規　監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之　訳	2021/12	29612-6	6,600	**5,300**	
首里城を解く―文化財継承のための礎を築く	高良倉吉　監修／島村幸一　編	2021/09	32001-2	4,180	**3,300**	
日本画の所在　東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮　編	2020/04	27055-3	7,150	**5,700**	
日本の表装と修理	岩﨑奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人　編	2020/03	20073-4	7,700	**6,200**	
医学・科学・博物　東アジア古典籍の世界	陳捷　編	2020/02	20072-7	13,200	**10,600**	
浸透する教養―江戸の出版文化という回路	鈴木健一　編	2013/10	29061-2	7,700	**6,200**	
書物学　第27巻　近代製本の100年―明治・大正・昭和	編集部　編	2025/04	30727-3	2,200	**1,800**	
書物学　第24巻　100年くらい前の本づくり ―近代日本の製本技術	編集部　編	2023/04	30723	2,200	**1,800**	
書物学　第9巻　江戸の欲望／江戸という欲望	編集部　編	2016/10	20709-2	1,650	**1,300**	
アジア遊学						
302　アク・ベシム遺跡を掘る―よみがえるシルクロードの交	山内和也・齊藤茂雄　編	2025/04	32548-2	3,520	**2,800**	
301　描かれた法華経―本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空	原口志津子　編	2025/03	32547-5	3,300	**2,600**	
300　性なる仏教	大谷由香　編	2025/01	32546-8	3,080	**2,500**	
299　近代日本の中国学―その光と影	朱琳・渡辺健哉　編著	2024/12	32545-1	3,850	**3,100**	
296　天文文化学の視点―星を軸に文化を語る	松浦清・真貝寿明　編	2024/10	32542-0	3,850	**3,100**	
297　廃墟の文化史	木下華子・山本聡美・渡邉裕美子　編	2024/10	32543-7	3,300	**2,600**	
298　無住道暁の拓く鎌倉時代―中世兼学僧の思想と空間	土屋有里子　編	2024/10	32544-4	3,080	**2,500**	
295　蘇州版画―東アジア印刷芸術の革新と東西交流	青木隆幸・板倉聖哲・小林宏光　編	2024/09	32541-3	3,520	**2,800**	
294　秀吉の天下統一 ―奥羽再仕置	江田郁夫　編	2024/06	32540-6	3,520	**2,800**	
291　五代十国―乱世のむこうの「治」	山根直生　編	2023/12	32537-6	3,520	**2,800**	
292　中国学の近代的展開と日中交渉	陶徳民・吾妻重二・永田知之　編	2023/12	32538-3	3,850	**3,100**	
289　海外の日本中世史研究―「日本史」・自国史・外国史の交	黄霄龍・堀川康史　編	2023/11	32535-2	3,520	**2,800**	
288　東アジアの「孝」の文化史 ―前近代の人びとを支えた価値観を読み解く	雋雪艷・黒田彰　編	2023/10	32534-5	3,520	**2,800**	
287　書物の時代の宗教―日本近世における神と仏の変遷	岸本覚・曽根原理　編	2023/09	32533-8	3,080	**2,500**	
286　近代アジアの文学と翻訳―西洋受容・植民地・日本	波潟剛・西槇偉・林信蔵・藤原まみ　編	2023/08	32532-1	3,300	**2,600**	
284　近世日本のキリシタンと異文化交流	大橋幸泰　編	2023/07	32530-7	3,080	**2,500**	
283　東アジアの後宮	伴瀬明美・稲田奈津子・榊佳子・保科季子　編	2023/06	32529-1	3,520	**2,800**	
280　都市と宗教の東アジア史	西本昌弘　編	2023/03	32526-0	3,300	**2,600**	
281　神道の近代―アクチュアリティを問う	伊藤聡・斎藤英喜　編	2023/03	32527-7	3,520	**2,800**	
279　上海フランス租界への招待―日仏中三か国の文化交流	榎本泰子・森本頼子・藤野志織　編	2023/01	32525-3	3,520	**2,800**	
278　呪術と学術の東アジア―陰陽道研究の継承と展望	陰陽道史研究の会　編	2022/12	32524-6	3,300	**2,600**	
277　宋代とは何か―最前線の研究が描き出す新たな歴史像	平田茂樹・山口智哉・小林隆道・梅村尚樹　編	2022/11	32523-9	3,520	**2,800**	
275　「唐物」とは何か	河添房江・皆川雅樹　編	2022/10	32520-8	3,080	**2,500**	
274　呉越国　10世紀東アジアに華開いた文化国家	瀧朝子　編	2022/10	32521-5	3,520	**2,800**	
272　対馬の渡来版経	横内裕人　編	2022/08	32518-5	3,520	**2,800**	
271　儒教思想と絵画	水野裕史　編	2022/06	32517-8	3,520	**2,800**	
269　近代中国美術の辺界	瀧本弘之・戦暁梅　編	2022/05	32515-4	3,850	**3,100**	
264　都市からひもとく西アジア	守川知子　編	2021/12	32510-9	3,080	**2,500**	
261　古典は遺産か？　日本文学におけるテクスト遺産の利用と	Edoardo GERLINI・河野貴美子　編	2021/10	32507-9	3,080	**2,500**	
259　書物のなかの近世国家	小二田章・高井康典行・吉野正史　編	2021/08	32505-5	3,300	**2,600**	
258　史料が語る東インド航路	水井万里子・大澤広晃・杉浦未樹・吉田信・伏見岳志　編	2021/07	32504-8	3,080	**2,500**	
256　元朝の歴史	櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉　編	2021/06	32502-4	3,520	**2,800**	
238　ユーラシアの大草原を掘る 草原考古学への道標	草原考古研究会　編	2019/09	22704-5	3,520	**2,800**	
233　金・女真の歴史とユーラシア東方	古松崇志・臼杵勲・藤原崇人・武田和哉　編	2019/05	22699-4	3,520	**2,800**	
223　日本人と中国故事―変奏する知の世界	森田貴之・小山順子・蔦清行　編	2018/09	22689-5	3,080	**2,500**	
198　海を渡る史書―東アジアの「通鑑」	金時徳・濱野靖一郎　編	2016/06	22664-2	2,200	**1,800**	
175　ソグド人と東ユーラシアの文化交渉	森部豊　編	2014/08	22641-3	3,080	**2,500**	
160　契丹［遼］と10～12世紀の東部ユーラシア	荒川慎太郎・澤本光弘・高井康典行・渡辺健哉　編	2013/01	22626-0	3,080	**2,500**	

東洋思想・宗教・文化史・交流史

道教文化と日本

陰陽道・神道・修験道

東王公・西王母、司命・司籍、泰山、雷神、太歳、竈神（庚申信仰）、
墓葬壁画にみえる四神と仙人、神器としての鏡、剣、玉、
民間に流伝した風習や伝説、術数、風水、医薬学…。
古来、日本文化の中に見られる様々な道教的要素。
道教は、いつどのように日本に伝来したのか。
道教の東アジア的広がりは、日本にどのような影響をもたらしたのか。
「道教的な要素」は、果たして本当に道教に由来していると言えるのか。
由来や存在形態などに未だ不明な部分が多い、
日本における「道教文化」。
陰陽道、神道、修験道、そして仏教など、
多角的な視点から文化要素の問題を再検討し、
日本における受容のありかたや、
日本文化への影響を解き明かす。

上・中津市本耶馬渓町古羅漢
下・王屋山王母洞

はじめに……土屋昌明

総論

道教とは何か――唐代の道教を中心に……酒井規史
唐の玄宗からみた道教の日本への伝教……土屋昌明

第1部 **陰陽道と道教**

古代日本と道教――陰陽道成立の前提として……細井浩志
陰陽道の祭祀と道教……山下克明
日本における「盤法」と唐土「雷公式」……西岡芳文
道教の反閉と陰陽道の反閉……松本浩一
【コラム】道教の方術……松本浩一
【座談会】道教と陰陽道の関係をいかに研究するか
……西岡芳文・山下克明・細井浩志・松本浩一／土屋昌明（司会）

第2部 **神道と道教**

中世神道における道教受容――特に鎌倉時代の両部・伊勢神道書について……伊藤聡
【コラム】神道に残る道教文献――『老子述義』『北斗経』『修真九転丹道図』を中心に……松下道信
平安時代の蓍亀占について……奈良場勝
【コラム】陰陽五行説と中世神道論――附・『東家秘伝』小考……原克昭
平田篤胤と道教の洞天思想……森瑞枝・土屋昌明

第3部 **修験道と道教**

道教と山岳信仰・修験道……鈴木正崇
修験道と道教――英彦山修験にみられる道教的要素の分析から……須永敬
山岳修験遺跡に見る道教思想の影響……山本義孝
中国の山岳信仰――名山への巡礼と峰への遊行……土屋昌明

第4部 **混淆する道教文化**

唐代密教史における道教的要素が存在する経典の成立背景について……岩崎日出男
諸教混淆と中世社会――福神・狐憑き・陰陽師……芳澤元
展望 和製『戸解譚』の軌跡……中前正志
三教一致説の展開――儒仏道から『先代旧事本紀大成経』の儒仏神へ……石井公成

あとがき／執筆者一覧

定価4,180円・本体3,800円
A5判・並製カバー装・432頁
2025年3月刊行
ISBN978-4-585-31020-4 C1014

日本道教学会〈編〉

1950年設立。道教並びに広く東洋の民族的宗教・文化に関する諸般の研究を推進し、会員相互の連絡を計ることを目的とする。
https://www.taoistic-research.jp/

書名	冊数
道教文化と日本――陰陽道・神道・修験道 日本道教学会〈編〉 定価4,180円・本体3,800円 A5判・並製カバー装・432頁 2025年3月刊行 ISBN978-4-585-31020-4 C1014	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

増補改訂版

道教美術の可能性

二〇一〇年に刊行され好評を博し、長らく入手不能となっていた同書に、最新の知見を盛り込んだ論考二本を増補、座談会を刷新した決定版！

道教史をモノから見る

東アジアにおいて道教はどのようなかたちで存在したのか。
道教は文化要素としてどのように展開し、変容していったのか。
東アジアでの道教の広がりを踏まえつつ、
道教が変容した諸相を探求。
壁画や尊像・道壇などの儀礼空間で使用されるモノ、
道教の使うアイテムや護符、経典や書籍など、
美術作品や実物資料からのアプローチにより、
文献や儀礼研究のみでは描き出すことの出来ない、
立体的な道教史を再構築する。

東京藝術大学准教授
専門は中国仏教・道教美術史
齋藤龍一

専修大学教授
専門は中国宗教史
鈴木健郎

専修大学教授
専門は中国文学・思想史
土屋昌明

‖編

定価3,300円・本体3,000円
A5判・並製カバー装・280頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-37019-2 C1071

カラー口絵

「道教美術の可能性」に寄せて…土屋昌明
座談会「道教美術研究の新展開」
…齋藤龍一×鈴木健郎×土屋昌明

◎総説
「道教美術」とは何か…鈴木健郎
道教の歴史…横手 裕

◎道教美術の諸相と展開
漢代銅鏡にみえる神話および道教の図像について…李淞
道教美術における文字の問題…土屋昌明
道教像のすがたとひろがり――南北朝～唐時代…齋藤龍一
中世道教の法服と法具…田中文雄
中国絵画と道教――宋元時代を中心として…宮崎法子
唐宋時代の道教絵画…酒井規史
水陸会における道教的要素…高志 緑
明清小説の版画に見える道教神―三清と如意…山下一夫
道壇と神画…丸山 宏

◎日本における受容と融合
日本の君王、道士法を崇めず
――古代日本における道教と文物の受容…増尾伸一郎
日本の中世仏画にみる道教…石川知彦
神道図像と道教美術の関わり
――「道教の美術」展を経て…清水実
馬に跨る女神はどこから来たか
――神道図像と道教をめぐって…門屋温
日本渡来の華人の神々…二階堂善弘
平田篤胤と「五岳真形図」…森 瑞枝

◎東アジア、そしてオリエントとの邂逅
琉球の呪符…山里純一
朝鮮半島における道教美術…土屋昌明
古代オリエントと道教美術…大形 徹

書　名	冊数
増補改訂版 **道教美術の可能性** 齋藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明〈編〉 定価3,300円・本体3,000円 A5判・並製カバー装・280頁 2025年4月刊行 ISBN978-4-585-37019-2 C1071	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

帝鑑図と帝鑑図説

日本における勧戒画の受容

（ていかんずとていかんずせつ）

小助川元太・薬師寺君子・野田麻美・水野裕史＝編

古来、中国および東アジアにおいては、為政者がいかにあるべきかを説くために、
他者や過去の出来事を鑑として戒めとすべき
手本を示した「勧戒画（鑑戒画）」が利用されてきた。
なかでも中国帝王にまつわる故事を取り上げたものは「帝鑑図」と称され、
屏風や障壁画など室礼や儀礼空間の荘厳として、また、挿絵として物語と共に
『帝鑑図説』として版本化され、東アジアの文化の基底として大きな影響を与えてきた。
本書では、日本における帝鑑図・帝鑑図説の諸作品を
美術史・文学研究の第一線の視点より、多角的に考察。
通説を再検討し、「帝鑑図」とは何か、という基本的な定義を問い直す画期的成果。
豊富な図版資料また国内作品の網羅的リストも具備した、
東アジア文化史研究における必携の一冊！

狩野山楽「帝鑑図押絵貼屏風」（部分）（東京国立博物館）

●編者プロフィール
小助川元太（こすけがわ・がんた）愛媛大学教育学部教授。専門は中世日本文学
薬師寺君子（やくしじ・きみこ）東京文化財研究所客員研究員。専門は日本近世美術史
野田麻美（のだ・あさみ）神戸大学大学院人文学研究科専任講師。専門は日本美術史（近世絵画）
水野裕史（みずの・ゆうじ）筑波大学芸術系准教授。専門は日本美術史

まえがき　「帝鑑図」『帝鑑図説』研究の最前線……小助川元太

資料編

・カラー口絵
狩野山楽「帝鑑図押絵貼屏風」（東京国立博物館）
伝狩野山楽「帝鑑図屏風」（永青文庫）
狩野探幽他「帝鑑図屏風」（東京国立博物館）
狩野甚丞「帝鑑図屏風」（個人蔵）
狩野宗眼重信「帝鑑図・咸陽宮図屏風」（静岡県立美術館）
「帝鑑図屏風」（九州国立博物館）
「帝鑑図」（名古屋城本丸御殿）（名古屋城総合事務所）
『帝鑑図説』慶長版（一部）（国立公文書館内閣文庫）

・モノクロ資料
『帝鑑図説』慶長版並びに万暦版全挿図及び解説……小助川元太
『帝鑑図説』慶長版並びに寛永版翻刻……小助川元太
『中国帝王の記憶すべき事蹟』（仏文『帝鑑図説』）全挿図及び解説……井川義次

解題編

帝鑑図押絵貼屏風　狩野山楽　東京国立博物館……野田麻美
帝鑑図屏風　永青文庫（熊本県立美術館寄託）……金子岳史
帝鑑図屏風　狩野探幽他　東京国立博物館……水野裕史
帝鑑図屏風　狩野甚丞　個人蔵……野田麻美
帝鑑図・咸陽宮図屏風　狩野宗眼重信　静岡県立美術館……野田麻美
帝鑑図屏風　九州国立博物館……鷲頭桂
帝鑑図（名古屋城本丸御殿）　名古屋城総合事務所……朝日美砂子
帝鑑図説……小助川元太

論考編

・帝鑑図
総論　帝鑑図……薬師寺君子
狩野派の帝鑑図再考……野田麻美
御殿空間における名古屋城本丸御殿上洛殿の帝鑑図障壁画……朝日美砂子
帝鑑図と権力……松島仁
帝鑑図と儒教……水野裕史
［コラム］帝鑑図の画料……水野裕史

・帝鑑図説
総論　帝鑑図説……小助川元太
万暦帝、張居正と『帝鑑図説』……林麗江（尾川明穂訳）
豊臣秀頼と『帝鑑図説』……福田千鶴
『帝鑑図説』の出版文化――通説と近年の研究傾向を問い直す……藤實久美子
［コラム］『帝鑑評』……入口敦志
ヨーロッパにおける『帝鑑図説』――フランス革命勃発の起爆剤？……井川義次

・附録
帝鑑図事例一覧
『帝鑑図説』作例一覧（国内中心・一部海外機関）
主要参考文献
あとがき……水野裕史
執筆者紹介

定価16,500円・本体15,000円
A4判上製カバー装・400頁
2024年11月刊行
ISBN978-4-585-37017-8 C3071

書名	冊数
帝鑑図と帝鑑図説――日本における勧戒画の受容 小助川元太・薬師寺君子・野田麻美・水野裕史〈編〉 定価16,500円・本体15,000円　A4判上製カバー装・448頁　2024年11月刊行　ISBN978-4-585-37017-8 C3071	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

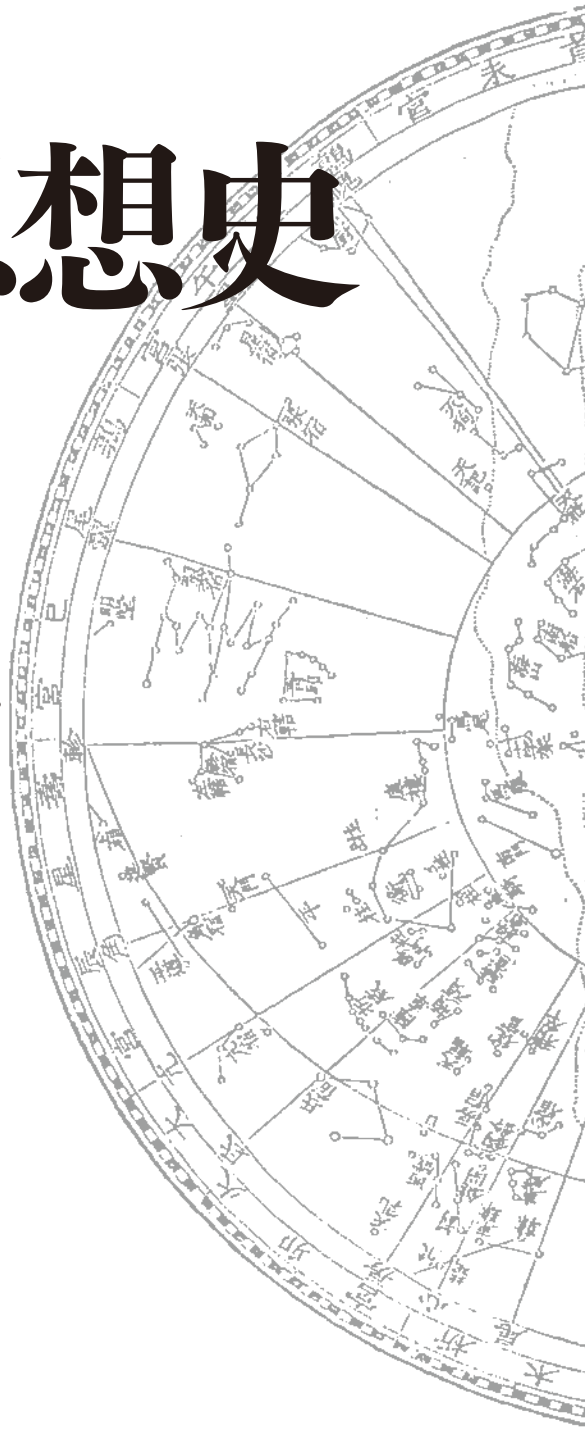
新装版

数と易の中国思想史

術数学とは何か

川原秀城［著］

東京大学名誉教授。専門は中国朝鮮思想史・東アジア科学史。著書に『中国の科学思想――両漢天学考』（創文社、1996年）、『関流和算書大成――関算四伝書』一～三期（共編、勉誠出版、2008～2011年）、『西学東漸と東アジア』（岩波書店、2015年）などがある。



中国の数の哲学――術数学。
天文学や数学などの数理科学的分野を対象とする暦算、
そして、易学の一側面として、福を冀い禍を逃れることを目的とし、
数のもつ神秘性に着目する占術からなり、広く東アジア全域に巨大な影響を与えてきた。
術数学に見え隠れする数と易とのジレンマを解明し、
数により世界を理解する術数学の諸相を総体的に捉えることで、
中国思想史の基底をなす学問の体系を明らかにする。

暦学・占い・陰陽道・医学・兵法・哲学・儒教・朱子学の根源は、術数学にあり!!

もくじ

術数学原論
◉中国の「計量的」科学
◉中国の数術◉朱子学は術数学か

術数学専論
◉大衍術◉秦九韶の易筮法
◉皇極経世学小史
◉律暦淵源と河図洛書

術数学補論
◉『孫子』における天文と地理
◉中国古来の哲理・五行思想
◉中国の「はかり」の世界
◉術数的思考と中国医学

定価7,700円・本体7,000円
A5判並製カバー装・256頁
2024年12月刊行
ISBN978-4-585-81045-2 C3010

※本書は『数と易の中国思想史』（2018年5月刊行）の新装版です。

【術数学】 じゅつ - すう - がく

術数学＝中国の数術で、暦算と占術に分けられる。暦算は今日でいうところの数理科学に近く、天文学・数学が主な内容。一方、占術は雑説を混えた易学の支流。占術の正確な内容を知るには、易学の知識も重要になる。また、術数学と儒教＝経学も密接な関係を持つ。この思考は、漢代経学・宋明朱子学にも頻見する。神秘学の世界観のありかた、暦学、占星学、朱子学、医学と様々な分野に需要のある一書である。

書　名	冊数
新装版 数と易の中国思想史――術数学とは何か 川原秀城［著］ 定価7,700円・本体7,000円 A5判並製カバー装・256頁 2024年12月刊行 ISBN978-4-585-81045-2 C3010	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

宋代士大夫官僚の基層社会と構造

宋代の士大夫官僚は、地方社会より出現し、都市に住んで郷村社会を支配した。科挙によって採用され、帝国の忠実な官僚となった彼らが基盤とした郷村はどのような構造をなしていたのか。そしてそこにおける彼らの地位はどのようなものだったのか――。祭りや行事の寄進者名や寄金高、石刻史料にのこる道路工事への出資者名、地名にのこる著名人の名前などを手がかりに、宋代の地域指導者の存在やその社会の構成を探る。

前言

第一部……宋代士大夫官僚の世界

一　宋代官僚の婚姻の意味について――士大夫官僚の形成と変質
二　宋代明州における官戸の婚姻関係
三　宋代婺州における官戸の婚姻関係
四　南宋四川における定居士人――成都府路・梓州路を中心として
五　宋代浙西における都市と士大夫――宋平江図坊名考
六　宋代の浙西における都市士大夫
七　中国宋代の都市とエリート――常州の発展とその限界
八　中国知識人の基層社会――宋代温州永嘉学派を例として
九　地方都市を囲む地域社会――南宋時代の台州を事例に
一〇　碑石史料から読み取る宋代江南の社会と生活
一一　宋代中国の都市と知識人――比較史の立場から

第二部……南宋政権下の四川

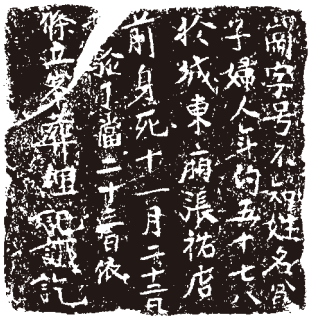
一　南宋四川における呉氏の勢力――呉曦の乱前史
二　南宋四川における呉曦の乱後の政治動向
三　南宋総領所の任用官――『開禧用兵』前後の四川を中心に
四　専制国家と地域

第三部……余録

知識人としての宋代士大夫官僚
一　知識人論への提言
　――「宋代史研究者からみた中国史研究の課題」の総括にむけて
二　知識人論展開への共通知識のために
三　宋代の士大夫覚え書――あらたな問題の展開のために

都市と組織
一　宋代の都市管理者達――序章として
二　中国庶民教育研究のための序章――特に宋代を中心にして
三　宋代都市における社会救済事業――宋公共墓地出土の磚文を事例に
四　東南アジアにおける中国人街の形成と中国の都市
　――チャイナ・タウン研究試論
五　中国の浮梁――日本の舟橋との関連において
六　宋代の道路建設と寄進額――寧波発見の博多在住宋人の磚文に関して
七　宋代社会と銭――庶民の資産力をめぐって
八　『宋會要』研究の現状と展望
むすび

後記／索引



伊原弘〈著〉

（いはら・ひろし）一九四四年生まれ。元・城西国際大学国際人文学部講師。中国都市史、社会史を中心に旺盛な研究・執筆活動を展開。『宋と高麗』（『世界の歴史』7「宋と中央ユーラシア」、中央公論新社、一九九七年）、『清明上河図』をよむ』（編著、勉誠出版、二〇〇三年）、『宋銭の世界』（編著、勉誠出版、二〇〇九年）、『中国都市の形象』（勉誠出版、二〇〇九年）、『清明上河図』と徽宗の時代』（勉誠出版、二〇一一年）、『宋代中国都市の形態と構造』（勉誠出版、二〇一〇年）など多くの編著書がある。

定価13,200円・本体12,000円
A5判・上製カバー装・592頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-32049-4 C3022

宋代士大夫官僚の基層社会と構造
伊原弘〈著〉
定価13,200円・本体12,000円
A5判・上製カバー装・592頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-32049-4 C3022

書名	冊数
	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

山内和也・齊藤茂雄［編］

アク・ベシム遺跡を掘る

よみがえるシルクロードの交易都市

アジア遊学302

定価 3,520円
（本体 3,200 円）

A5判並製カバー装
292頁（口絵4頁+本文288頁）
ISBN 978-4-585-32548-2 C1322
2025年4月刊行

東西文化の接触点

中央アジアのキルギス共和国にあるアク・ベシム遺跡。
この遺跡は、5～11世紀頃にスイヤブ（砕葉・素葉とも）と呼ばれた古代都市の遺跡である。
スイヤブはシルクロード交易の民ソグド人によって形成され、草原の遊牧勢力や中国王朝の唐、さらにはイスラームのカラハン朝が拠点とした多文化融合の国際交易都市であった。
都市はいかにして造られ、展開したのか。
東西の人びとはここでどのように暮らし、交流していたのか。
最新の発掘調査と、文献史学・美術史学・地理学・民俗学等、関係分野の知見から、都市スイヤブとその周辺世界の歴史を明らかにする。

［目次］

カラー口絵
序文◎**山内和也**
総論　アク・ベシム遺跡（スイヤブ）とは◎**山内和也・齊藤茂雄**

I　歴史的背景
チュー川流域東部の地形と遺跡の分布特性
　――ジオアーケオロジーの視点で◎**佐藤剛**
砕葉川のトルコ系遊牧民
　――西突厥・十姓を中心に◎**齊藤茂雄**
玄奘が見たスイヤブ◎**山内和也**

II　発掘調査
ソグド人の街の発掘◎**櫛原功一**
唐代砕葉鎮城（AKB－15）を掘る◎**平野修**
【コラム】アク・ベシム遺跡出土の瓦◎**櫛原功一**
アク・ベシム遺跡とその周辺の仏教寺院◎**岩井俊平**
アク・ベシム遺跡発見の唐代花柄石敷とその性格◎**向井佑介**
家畜利用からみたアク・ベシム遺跡◎**植月学**
植物遺存体からわかる当時の暮らし◎**赤司千恵・中山誠二**
【コラム】空中写真でアク・ベシムを探る◎**望月秀和**

III　出土遺物・文化
チュー川流域出土の初唐様式仏教彫塑◎**森美智代**
チュー川流域出土漢文史料の書風分析
　――砕葉鎮城に到達した文字◎**福井淳哉**
【コラム】アク・ベシム遺跡出土の「杜懐寶碑」について◎**齊藤茂雄**
アク・ベシム遺跡出土の亀符と則天武后◎**柿沼陽平**
アク・ベシム遺跡出土のコイン
　――文献学・歴史学と分析科学の接点◎**吉田豊・藤澤明**
セミレチエのソグド人キリスト教徒が制作したとされる銀器について◎**影山悦子**
物質文化資料からみた天山地域の遊牧民
　――シャムシの遺宝を中心に◎**大谷育恵**
キルギスにおける伝統医療とシャーマン◎**藤崎竜一・高柳妙子・池田直人**
【コラム】アク・ベシム遺跡を活用した観光開発◎**榊原洋司**
【コラム】ファインダーから見たキルギス◎**福田大輔**

［編者プロフィール］

山内和也（やまうち・かずや）
帝京大学教授・帝京大学文化財研究所長。
専門はシルクロードの考古学・文化史。
主な編著書に『シルクロードのコイン1』『シルクロードのコイン2』『砕葉史研究』（帝京大学シルクロード叢書、帝京大学出版会、二〇二五年）、論文に「砕葉鎮城の大雲寺の位置と伽藍配置に関する試論」「砕葉鎮城の建設とアク・ベシム遺跡シャフリスタンⅠの都市プランの変化」（『帝京大学文化財研究所研究報告』23、二〇二五年）などがある。

齊藤茂雄（さいとう・しげお）
帝京大学文学部史学科講師。専門は古代遊牧民族史。主な論文に「砕葉とアクベシム――7世紀から8世紀前半における天山南部の歴史展開（増訂版）」（『帝京大学文化財研究所研究報告』20、二〇二一年）、「文献史料から見た砕葉城」（『帝京大学文化財研究所研究報告』21、二〇二二年）、「タラス河畔の戦いと砕葉――唐の出兵目的をめぐって」（『東洋学報』105－2、二〇二三年）などがある。

書　名	部数
アク・ベシム遺跡を掘る よみがえるシルクロードの交易都市【アジア遊学302】 **山内和也・齊藤茂雄**［編］ 定価3,520円（本体3,200円） A5判並製カバー装 292頁（口絵4頁+本文288頁） ISBN978-4-585-32548-2 C1322 2025年4月刊行	部

ご送付先（氏名・住所・電話番号）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

器（うつわ）と信仰

東アジアの舎利荘厳をめぐる美術史・考古学からのアプローチ

釈迦の遺骨として、アジア各地で篤い信仰を集める「舎利」。
その容れ物である舎利容器は、特定の用途を持つ器形や、
別の文脈で意味を成した図像が複合的に組み合わされ、舎利を荘厳する器として仕立て上げられた。
それゆえ、「器のかたち」――どこで、どのような器の形状・素材・図様が採用されてきたのかという問題は、
「舎利の意味」――舎利が各地域の社会において
どのような存在として受容されたのかということと相関関係を有している。
十数年にわたり行われた中国・日本・韓国・ベトナムの実地調査を礎とした、
舎利及びその荘厳に関する最新の知見を三部十四本の論考により提示。
また、資料編では、現地調査にて得られた作例の基礎データ、
また、舎利荘厳における大きな画期である仁寿舎利塔の網羅的調査記録を提示、貴重な画像資料も収載した。
美術史学界・考古学界のみならず、日本及び東洋の文化史に関わる領域に広く寄与する画期的成果。

カラー口絵
はじめに……加島勝

◎研究編

第1部
●中国・シルクロードにおける舎利容器の形式変遷について……加島勝●中国における棺形舎利容器とそのモデル……岡林孝作
●北魏～隋唐時代の舎利埋納方式――地宮・天宮の変遷と舎利容器の組合せを中心に……冉万里

第2部
●隋代における舎利埋納制度について……冉万里●仁寿舎利塔の思想と舎利容器……長岡龍作◎神徳寺石函の図様表現と特色……泉武夫
●隋時代の舎利容器……加島勝◎臨潼慶山寺舎利地宮壁画試論……楊效俊●法王寺2号塔地宮の出土品について……松本伸之●扶風法門寺塔の4つの真身舎利と舎利容器……大島幸代

第3部
●法身としての舎利と容れ物――仁寿舎利塔から大仏へ……長岡龍作
●ベトナムバクニン省トゥアンタイン県スアンクアン出土の隋仁寿元年舎利石函と舎利塔銘――交州龍編県禅衆寺舎利石函と塔銘調査記……冉万里
●万安禅院石窟西奥壁の仏涅槃図・金棺出現図浮彫等についての概報……泉武夫●飛鳥時代の舎利信仰における一側面……岡林孝作

◎資料編
●仁寿元年の第一次仁寿舎利塔に関する資料集成……大島幸代

◆資料集成
岐州鳳泉寺／雍州仙遊寺／嵩州嵩岳寺／泰州岱岳寺／華州思覚寺／衡州衡岳寺／定州恒岳寺／廓州法講寺／牟州巨神山寺
呉州会稽山寺／同州大興国寺蒲州栖巌寺蘇州虎丘山寺／涇州大興国寺／并州無量寿寺／相州大慈寺／襄州大興国寺／隋州智門寺／益州法聚寺／秦州静念寺
揚州西寺／鄭州定覚寺／青州勝福寺／亳州開寂寺／汝州興世寺／瓜州崇教寺／番州霊鷲山寺／桂州縁化寺／交州禅衆寺／蒋州栖霞寺
●崇福寺塔心礎納置品の材質調査について……加島勝

◆拓本・碑銘
［拓本］神徳寺石函線刻／山東青州勝福寺［碑銘］重修広福寺記／瑞応寺再葬仏舎利碑／結九品往生社碑
●海外現地調査日誌 2001～2019……岡林孝作・加島勝

あとがき……加島勝

加島勝〈編〉

（かしま・まさる）一九五六年生まれ。大正大学名誉教授・特遇教授、東京国立博物館名誉館員。博士（文学）。専門は仏教工芸史。著書に『柄香炉と水瓶』（『日本の美術』五四〇号、ぎょうせい、二〇一一年）、『日中古代仏教工芸史研究』（雄山閣、二〇一六年）、『平泉の文化史3 中尊寺の仏教美術 彫刻・絵画・工芸』（共著、吉川弘文館、二〇二一年）などがある。

定価16,500円・本体15,000円
B5判上製カバー装・460頁
2024年3月刊行
ISBN978-4-585-32041-8 C3020

書名	冊数
器と信仰 加島勝〈編〉 東アジアの舎利荘厳をめぐる 美術史・考古学からのアプローチ 定価16,500円・本体15,000円 B5判上製カバー装・460頁 2024年3月刊行 ISBN978-4-585-32041-8 C3020	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

小二田 章〈編〉
KONITA Akira

1979年生まれ。放送大学人間と文化コース准教授。専門は近世中国史、宋代以降の地方志編纂、東アジアの地方史誌。
著書・論文に「『咸淳臨安志』の位置――南宋末期杭州の地方志編纂」(『中国――社会と文化』第28号、2013年)、『書物のなかの近世国家――東アジア「一統志」の時代』(共編、勉誠社、2021年)、「「地方史誌」研究事始――近世日本の比較検討から」(『史観』第186冊、2021年)、『地方史誌から世界史へ――比較地方史誌学の射程』(編著、勉誠社、2023年)などがある。

地方史誌から世界を読む

定価8,800円・本体8,000円
A5判上製カバー装・352頁・2025年1月刊行・ISBN978-4-585-32064-7 C3020

歴史を中心に地方のあり方を描き出す総合的書物、「地方史誌」。
これまでの研究では記載内容が参照されるだけで、「地方史誌」それ自体の総合的検討はなされてこなかった。
しかし、世界に目を向けてみれば、各地の文化・集団に寄り添う「地方史誌」は
歴史叙述・歴史認識に結びつきその比較検討は世界史的な課題と言える。
本書では、世界各地の「地方史誌」における叙述の主体、また、対象となる場や事柄、
さらには近代に至るまでの受容の諸相を考察し、「地方史誌」を比較検討するための礎を提示する。

[もくじ]

序論　「地方」から「世界」に進むために……小二田章

1.「地方」とはどこか
前近代アラビア語圏における歴史 **Ta'rīkh** と地誌 **Khiṭaṭ** ――エジプトにおけるその展開……荒井悠太
13～14世紀イルハン朝期イラン「地方史」少考――モンゴルの支配は地方からどう見えたか……渡部良子
「ビザンティン・コモンウェルス」と中世バルカン半島の知識人――文化伝播における中央・地方の関係を中心に……唐澤晃一
日本中世における「地方史誌」の可能性――『峯相記』を中心に……苅米一志
「邪馬臺国」と「邪馬一国」――『大明一統志』日本国の条の史料源と明中期の学術……高井康典行

2.「地方」の何を描くのか
『テュルク系譜』3写本に増補されたクリミアのハンたちに関する記述について――付クリミア・ハン国史書簡介……長峰博之
八代市立博物館未来の森ミュージアム蔵『八代名所集』について……真島　望
政治環境と清代・大同における志書の編纂……張繼瑩
朝鮮後期における邑誌編纂事業の概観……李在斗(訳：金鉉洙)
近世ベトナム王朝の地方誌に見る知識人の世界観――『輿化処風土録』から『輿化記略』へ……岡田雅志

3.「地方史誌」の向かう先
18世紀後半～19世紀初頭に成立したベトナム北部山地関連史料について――『諒山団城図』・『高平実録』を中心に……吉川和希
オスマン帝国における「一統」の在り方――『国家年鑑』と『州年鑑』……大河原知樹
近代移行期中央アジアにおける歴史叙述の転換――ユースポフ『歴史』を中心に……塩谷哲史

編集後記……小二田章／ Summary ／執筆者一覧

書　名	冊数
地方史誌から世界を読む 小二田章〈編〉 定価8,800円・本体8,000円 A5判上製カバー装・352頁 2025年1月刊行 ISBN978-4-585-32064-7 C3020	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

「見える」ものや「見えない」ものをあらわす

東アジアの思想・文物・藝術

〈編者〉
外村中
稲本泰生

「見える／見えない」を論じること、それらを描き出すこと——
宗教や思想、藝術などの人間の営みは、
このことが大変重要かつ普遍的なテーマであることを示している。
東アジアの文物や藝術を解釈する上での共通の基盤の形成をめざすために、
「見えるもの／見えないもの」にまつわる理論や事象について、
従来の分野の枠組をこえて国際的にかつ学際的に探求。
宗教・思想をはじめ、考古遺物から彫刻絵画、
建築庭園、芸能音楽などにまで及ぶ様々な論点を、
最先端の研究者二十四名の視角により提示する画期的論集。

本書の構成

第一部　祭祀・墓葬と「見える」もの「見えない」もの
第二部　尊像の誕生
第三部　仏菩薩の姿と「時間」「過程」の表象
第四部　仏身と世界観——盧舎那仏の形と意味
第五部　音を「見せる」／姿を「留める」
第六部　仏菩薩の顕現する場
第七部　「見えない」ものを「とらえる」——付会と図解
第八部　諸教交渉と「見える」もの「見えない」もの
第九部　「見える」「見えない」現象の主体／連鎖するイメージ

執筆者一覧

古勝隆一　向井佑介
森下章司　内記理
魏藝　折山桂子
田中健一　中西俊英
船山徹　高橋早紀子
大平理紗　黄盼
倉本尚徳　瀧朝子
増記隆介　塚本明日香
横手裕　福谷彬
西谷功　重田みち
清水健　呉孟晋

定価15,400円・本体14,000円
B5判上製カバー装・744頁（+口絵2頁）
2024年3月刊行
ISBN978-4-585-37012-3 C3071

書　名	冊数
「見える」ものや「見えない」ものをあらわす 東アジアの思想・文物・藝術 外村 中・稲本泰生〈編〉 定価15,400円・本体14,000円 B5判上製カバー装・744頁（+口絵2頁） 2024年3月刊行 ISBN978-4-585-37012-3 C3071	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

全もくじ

序にかえて……外村中

第一部 祭祀・墓葬と「見える」もの「見えない」もの

后稷は天に配せられたのか——『詩』大雅「生民」から『孝経』へ……古勝隆一
漢魏晋墓の神坐と墓主図像——墓のなかの「見えるもの」と「見えないもの」……向井佑介

第二部 尊像の誕生

西王母像の系譜と像の崇拝……森下章司
仏像の出現について……内記理

第三部 仏菩薩の姿と「時間」「過程」の表象

南北朝期中国仏教における十地思想の再検討—四果と十地の関係を手がかりに……魏藝
莫高窟隋代の弥勒経変相図付近に描かれた二菩薩像……折山桂子
日本仏教造像史と久遠の釈迦……田中健一

第四部 仏身と世界観——盧舎那仏の形と意味

『大方広仏華厳経』における「ヴァイローチャナ」とその教理的解釈……中西俊英
盧舎那仏の可視性と立像……船山徹
「法界仏像」における諸形象の表象意識——キジル石窟第十七窟両像と敦煌莫高窟第四二八窟像を中心に……高橋早紀子

第五部 音を「見せる」／姿を「留める」

雲岡石窟にあらわされた楽器について……大平理紗
供養者図像からみる雲岡石窟大型窟の造営……黄盼

第六部 仏菩薩の顕現する場

晩年の道宣による天竺中土説の克服——見えないものによる三宝の住持と見えるものとの感応……倉本尚徳
鏡像／線刻鏡の考察—図像を見いだす……瀧朝子
宋代仏画における清浄華院「阿弥陀三尊像」の史的位置……増記隆介

第七部 「見えない」ものを「とらえる」——付会と図解

太極殿および大極殿をめぐる文学作品四篇訳注……古勝隆一
見えない天意を見せるもの——正史「五行志」の役割……塚本明日香
医家と道家と体内観……横手裕
道学における周惇頤顕彰と『太極図説』への注目……福谷彬

第八部 諸教交渉と「見える」もの「見えない」もの

道家系と儒家系と伊勢神道の「一なる」もの——「一なる」ものは「道」か「気」か……外村中
北宋大中祥符年間における舎利荘厳の位相——長干寺阿育王塔の埋納を中心に……稲本泰生
涅槃会の変遷と涅槃図——東アジア仏教社会における「忌日」を視点に……西谷功

第九部 「見える」「見えない」現象の主体／連鎖するイメージ

幽霊能におけるまぼろし——〈幻〉と〈見える—見えない〉の歴史と変遷……重田みち
神宝より見える、見えない日本の神々の姿……清水健
明清絵画にみる文人器玩のあり方……呉孟晋

あとがき……稲本泰生
執筆者紹介

中国の女性演劇

越劇とジェンダー

中山文〈著〉

（なかやま・ふみ）博士（文学）、大阪外国語大学中国語学科・同大学院修士課程修了。神戸学院大学人文学部・人間文化学研究科地域文化論専攻東アジア文化論講座教授。北京大学・復旦大学訪問教授。専門は中国文学・演劇。おもに中国演劇におけるジェンダー表象の研究、喩栄軍作品の翻訳。近年は演劇教育、ジェンロントロジーにおける演劇の可能性に取り組む。共編著に『新版　越劇の世界　中国の女性演劇』（NKStation、2019年）。主な論文に「姉妹の越劇―姚水娟・袁雪芬・尹桂芳の時代」（中国ジェンダー研究会編『中国の娯楽とジェンダー　女が変える／女が変わる』勉誠社、2022年3月）など多数。

序　章　カラー口絵
第一章　越劇とはなにものか？
第二章　男たちの越劇――浙江省の遺伝子
第三章　少女の越劇一――男たちが生み育てた卵たち
第四章　少女の越劇二――男芸から女芸へ
第五章　姉妹の越劇一――時代性の獲得
第六章　姉妹の越劇二――観客の獲得
第七章　父の越劇――社会的地位の獲得
第八章　母の越劇――浙江小百花越劇団・茅威濤・楊小青
終　章　女たちの越劇
　　越劇は自分をどうみたか
　　索引

ジェンダー視点から読み解く越劇（えつげき）と近代

十九世紀中頃に浙江省で生まれ、「京劇に次ぐ第二の劇種」と称されるようになった「越劇」。なぜ女性が男性役を演じる女性演劇が生まれたのか。そこでは何がテーマとされたのか。女優たちは男性俳優から何を学び、学ぶことをやめたのか。また、観客たちは何を求めたのか。

越劇の形成・展開に重要な役割を果たしてきた環境や人々をジェンダーの視点から考察し、時代や社会のニーズに応じてスタイルを変え続ける越劇の姿を、一人の女性の成長史として読み直すユニークかつ意欲的な試み。

越劇の変遷

浙江省男性農民の田舎芝居にはじまる「男たちの越劇」は、彼らに指導された「少女の越劇」時代を経て一九四〇年代の上海で「姉妹の越劇」として女性の芝居へと変容を遂げる。中華人民共和国成立後は、中国共産党の指導により政治的な作品を生み、文化大革命という政治的混乱に翻弄される「父の越劇」時代を迎える。八十年代には故郷浙江省で女性の理想を詩的に描く「母の越劇」が誕生し、二十一世紀に入ると女性の多様な生き方を描く「女たちの越劇」へと変容する。

定価8,250円・本体7,500円
A5判・上製カバー装・口絵8+352頁
2025年3月刊行
ISBN978-4-585-37018-5 C3074

書　名	冊数
中国の女性演劇 越劇とジェンダー 中山文〈著〉 定価8,250円・本体7,500円 A5判・上製カバー装・口絵8+352頁 2025年3月刊行 ISBN978-4-585-37018-5 C3074	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

近代日本の中国学
——その光と影

古来、日本にとって大いなる「他者」であり続けている中国。
近代化を目指した日本において、その中国との差異化は文明論の大きな課題であった。
伝統的な「漢学」を打破しつつも、西洋の「シノロジー」をそのまま受容せず、
独自の「支那学」を作り上げた近代日本の知識人たち。
その学問は戦争や時局の流れに翻弄され、時には光となり人々の心を照らし、
また、影となり批判や反省の対象となることもあった。
知の編成・連鎖・再生産といった視点から、近代日本の中国学の変遷過程をたどり、
東アジアの近代知のあり方および文化交流の実態の一面に迫る画期的論集。

定価3,850円・本体3,500円
A5判並製カバー装・384頁
2024年12月刊行
ISBN978-4-585-32545-1 C1320
アジア遊学 No.299

朱琳・渡辺健哉〈編著〉

目次

序文◎近代日本の中国学——その光と影…朱 琳
総論◎「中国知」と「シナ通」…山室信一
◎近代日本の中国学の系譜…小野寺史郎

第Ⅰ部 **「東洋史」と「支那学」の確立**
那珂通世と桑原隲蔵——その中国史像を中心に…黄東蘭
白鳥庫吉と内藤湖南——同時代人としての共通点…吉澤誠一郎
服部宇之吉と狩野直喜——「支那学」の光と影…水野博太
矢野仁一——大亜細亜協会副会頭に就いた中国史家…久保 亨
『台湾日日新報』記者時代の鈴木虎雄…中野目徹

第Ⅱ部 **中国研究に新風を吹き込む**
青木正児——「支那学」から出発して漢学に帰着した孤高者…辜承堯
宮崎市定と軍隊…井上文則
吉川幸次郎と石川淳との交遊…池澤一郎
今はいくさの服もぬぎ——目加田誠とその「ブンガク」研究…稲森雅子

第Ⅲ部 **日中書画交流**
富岡鉄斎の晩年における藝術の伴走者たち——鉄斎と京大中国学の人々…戦暁梅
近代漢学者の墨戯——長尾雨山が描いた絵画をめぐって…呉 孟晋
河井荃廬——清代後期の碑学・金石趣味の伝導者…下田章平
瀧精一と「職業としての」美術史家の成立
——東京帝室博物館、東京帝国大学の職位と、民間の専門職集団…塚本麿充

第Ⅳ部 **アジア踏査**
関野貞と常盤大定——二人の中国調査とその成果…渡辺健哉
鳥居龍藏の業績が語るもの
——西南中国関連著述の再検討と中国近代学術史研究への応用…吉開将人
大谷光瑞の光と影…柴田幹夫
日中仏教交流と日本の中国侵略——水野梅暁に潜む「光と影」…広中一成

第Ⅴ部 **ジャーナリストの目に映った中国**
在野の中国演劇研究——辻武雄・村田孜郎・波多野乾一…森平崇文
橘樸と中国——「大正知識人」の光と影…谷雪妮
太田宇之助と尾崎秀実
——一九三〇年代における東京朝日新聞社中国専門記者の中国認識…島田大輔
橋川時雄——北京三十年…朱 琳

しゅ・りん◉東北大学大学院国際文化研究科准教授。専門はアジア政治思想史、東アジア文化交流史。
わたなべ・けんや◉大阪公立大学文学研究科教授。専門は元朝史、近代における日中交流史。

書　名	冊数
近代日本の中国学——その光と影 朱琳・渡辺健哉〈編著〉 定価3,850円・本体3,500円 A5判並製カバー装・384頁 2024年12月刊行 ISBN978-4-585-32545-1 C1320 **アジア遊学 No.299**	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

中国学の近代的展開と日中交渉

陶徳民・吾妻重二・永田知之［編］

アジア遊学292

定価二、八五〇円（税込）
本体二、五〇〇円
A5判並製カバー装・二三六頁
二〇二三年十二月刊行
ISBN978-4-585-32538-3 C1322

二十世紀前半、日本では近代漢学、東洋学や支那学、現代中国学など、中国をめぐる学術研究が盛行した。一方、同時代の中国では、従来の漢学・宋学・清代の考証学に加えて、自国の文化遺産を再評価しようとする国学が勃興し、周辺地域も視野にいれた東方学が芽生えた。

しかし、当時の日中両国の中国研究は決して没交渉だったわけではなく、むしろ緊密な協働関係のもとに展開していった。

例えば、京都大学の内藤湖南による『章実斎先生年譜』に刺激を受けた胡適が、同名の年譜を編んで内藤に贈ったことや、増田渉が上海で魯迅から『中国小説史略』の個人授業を受けた縁で、魯迅の丁寧な添削を経た同書の名訳を上梓できたことが挙げられる。

本書では伝統的な経学・史学・文学と、敦煌学や甲骨学など新しい分野をめぐる日中間の学術交流と人的交流の重要な事例を網羅的に考察するとともに、約一二〇点の関連写真と史料で全体像を提示する。

東アジアにおける中国学の近代的展開の諸相とその歴史的意味を考えるために必携の一冊。

［目次］

序説…**陶徳民・吾妻重二**

I　近代における章学誠研究熱の形成とそのインパクト

十九世紀中国の知識人が見た章学誠とその言説
——史論家・思想家への道…**永田知之**
「欧西と神理相似たる」東洋の学問方法論の発見を求めて
——内藤湖南における章氏顕彰と
富永顕彰の並行性について…**陶徳民**
戴震と章学誠と胡適——乾嘉への接続と学術史の文脈…**竹元規人**
「章学誠の転換」と現代中国の史学の実践——胡適を中心に（節訳）
…**潘光哲（邱吉・竹元規人編訳）**
余嘉錫の章学誠理解——継承と批判…**古勝隆一**
内藤湖南・梁啓超の設身処地と章学誠の文徳について…**高木智見**
【コラム】『章氏遺書』と章実斎年譜について…**銭婉約**
【コラム】劉咸炘と何炳松の章学誠研究について…**陶徳民**
【コラム】清末・民国初期における史学と目録学…**竹元規人**
【コラム】『文史通義』の訳出を終えて…**古勝隆一**

II　経史研究の新しい展開と日中人物往来

「東洋史」の二人の創始者——那珂通世と桑原隲藏…**小嶋茂稔**
羅振玉・王国維往復書簡から見る早期甲骨学の形成
——林泰輔の貢献に触れて…**羅琨・邱吉訳・永田知之校閲）**
漢学者松崎鶴雄から見た湖南の経学大師
——王闓運・王先謙・葉徳輝…**井澤耕一**
皮錫瑞『経学歴史』をめぐる日中の人的交流とその思惑・評価…**橋本昭典**
近代日本に於ける「春秋公羊伝」論…**劉岳兵（殷晨曦訳・古勝隆一校閲）**
諸橋轍次と中国知識人たちの交流について
——基本史料、研究の現状および展望…**石暁軍**
武内義雄と吉田鋭雄——重建懐徳堂講師の留学と西村天囚…**竹田健二**
【コラム】水野梅暁とその関係資料…**劉暁軍**
【コラム】『古史辨』の登場と展開…**竹元規人**
【コラム】宮崎市定における「宋代ルネサンス」論の形成とその歴史背景…**呂超**
【コラム】北京の奇人・中江丑吉——その生い立ちと中国研究…**二ノ宮聡**

III　民間文学と現代中国への眼差し

狩野直喜の中国小説研究——塩谷温にもふれて…**胡珍子**
青木正児の中国遊学と中国研究…**周閲**
増田渉と辛島驍——『中国小説史略』の翻訳をめぐって…**井上泰山**
竹内好と中国文学研究会のあゆみ…**山田智**
【コラム】敦煌学が開いた漢字文化研究の新世界…**永田知之**
【コラム】雑誌『支那学』の創刊と中国の新文化運動…**辜承堯**
【コラム】吉川幸次郎と『東方文化研究所漢籍分類目録　附書名人名通検』
…**永田知之**

あとがき…**永田知之／年号対照表**

［編者紹介］

陶　徳民（とう・とくみん）◉関西大学名誉教授・東アジア文化交渉学会初代会長。主な著書に『もう一つの内藤湖南像——関西大学内藤文庫探索二十年』（関西大学出版部、二〇二一年）など。

吾妻重二（あづま・じゅうじ）◉関西大学文学部教授・日本中国学会副理事長。主な編著に『東西学術研究と文化交渉——石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集』（関西大学出版部、二〇一九年）など。

永田知之（ながた・ともゆき）◉京都大学人文科学研究所准教授。主な著書に『理論と批評——古典中国の文学思潮』（臨川書店、二〇一九年）など。

書　名	部数
中国学の近代的展開と日中交渉 【アジア遊学292】 **陶徳民・吾妻重二・永田知之**［編］ 定価3,850円（税込）・本体3,500円 A5判並製カバー装・336頁 2023年12月刊行 ISBN978-4-585-32538-3 C1322	部

ご送付先（氏名・住所・電話番号）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本近世史・宗教

近世日本邪正論

（きんせいにほんじゃせいろん）

江戸時代の秩序維持とキリシタン・隠れ／隠し念仏

大橋幸泰【著】

異なる属性を持つ人びとの対立・確執は避けられないのか
現代につながる宗教・宗派間対立解決への糸口を提示

近世日本で絶対的な「邪」とされた「切支丹」という言葉とそこから派生したイメージは、近世人の秩序意識をいかに支え、当該期の国家や社会にどのような矛盾をもたらしたのか――。禁教下の江戸時代において、キリシタンたちは、潜伏活動のほか、寺や神社の活動に参加するなど複数の宗教的属性をもち、さらに村民という世俗的属性をもって暮らしていた。「切支丹」と証明されなければ、現実の生活のなかで受け入れられていたのである。潜伏キリシタンや隠れ念仏・隠し念仏など、近世日本の潜伏宗教をめぐる動向に焦点を当て、村社会でキリシタンと非キリシタンという諸属性が共存していた実態を示すとともに、治者がキリシタン禁制による社会秩序を維持するための諸政策をどのように行い、被治者がそれらをどのように受け止めたのかを明らかにする。さらに、その近世秩序がしだいに解消され、異質な諸属性の共存状態も解体していく過程を跡付ける。

【著者紹介】
大橋幸泰（おおはし・ゆきひろ）
早稲田大学教育・総合科学学術院教授。専門は日本近世史。
主な著書に『検証 島原天草一揆』（吉川弘文館、二〇〇八年）、『近世潜伏宗教論――キリシタンと隠し念仏』（校倉書房、二〇一七年）、共編著に『〈江戸〉の人と身分6 身分論をひろげる』（吉川弘文館、二〇一一年）、編著に『近世日本のキリシタンと異文化交流』（アジア遊学284号、勉誠社、二〇二三年）などがある。

【目次】

はしがき――本書の問題意識と構成
序　近世的邪正の構造
序　章　近世日本の異端的宗教活動と秩序意識
第一部　キリシタン禁制と治者・被治者
第一章　江戸幕府のキリシタン禁制
第二章　諸藩による島原天草一揆の記録と記憶
第三章　豊後崩れと類族改制度
第四章　類族改制度と村社会
第五章　邪正観の分岐
第二部　近世的共存関係とその解体
第六章　近世日本の異端的宗教活動と宗教的属性
第七章　近世秩序における「邪」の揺らぎ
第八章　近世的共存関係の変容
第九章　属性論で読み解く潜伏キリシタンと村社会
第一〇章　潜伏キリシタンの明治維新
補論一　近世人の宗教世界
補論二　潜伏キリシタンに学ぶ
第三部　民衆史と属性論という方法
第一一章　「民衆」を考える
第一二章　近世日本の民衆史研究
補論三　深谷克己著『百姓成立』に学ぶ
結　近世的邪正の行方
終　章　近世日本の邪正観
あとがき
索　引

定価一一、〇〇〇円
（本体一〇、〇〇〇円）
A5判上製カバー装・三七六頁
二〇二四年十一月刊行
ISBN978-4-585-32058-6 C3021

書　名	部数
近世日本邪正論 江戸時代の秩序維持とキリシタン・隠れ／隠し念仏 大橋幸泰【著】 定価11,000円（本体10,000円） A5判・上製カバー装・376頁 2024年11月刊行 ISBN978-4-585-32058-6 C3021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

仏教・歴史・文学・美術史・ジェンダー論

性なる仏教

大谷由香＝編

誰しもに悟りの可能性が開かれることをときに強調し、
多様な人格を許容しうるかのように見える仏教。
しかし世俗社会からの支持や支援によって
仏教教団が成り立つからには、
教団もまた性的役割分担をはじめとする
社会的影響を受けざるを得ない。
妻帯が禁止されている僧侶たちは、
「家」を継承するためにどのような方法をとったのか。
仏教を信仰する集団における、
男性の美醜の基準とはどのようなものだったのか。
仏教の中で女性はどのような役割を負わされ、
どのように理想化されていたのか。
仏教学・歴史学・美術史学など
多様なフィールドの研究者が、女性や性的少数者など、
仏教史上のマイノリティの存在に着眼し、
仏教が想定してきた性のありように迫る。

定価3,080円・本体2,800円
A5判並製カバー装・208頁
2025年2月刊行
ISBN978-4-585-32546-8 C1315
[アジア遊学 No.300]

序文……大谷由香

I ―― **女性が出家すること／女性がさとること**
東アジアにおける比丘尼受戒譚と三人の尼……大谷由香
仏性と女性……村上明也

II ―― **性の超越と仏教**
転変する性……岸田悠里
律蔵に記載される「性転換」した人々
――上座部の比丘尼僧伽復興に関連して……サッチャーナンディー

III ―― **理想化される女性像**
浄土真宗本願寺派における母親像……小野嶋祥雄
[column] 我を抱擁せよ
――『華厳経』の婆須蜜多女をめぐる教理解釈と明恵……野呂靖

IV ―― **ルッキズムな仏教**
美僧の登場……河上麻由子
玄奘の肖像と玄奘イメージの系譜……大島幸代
[column] 僧侶の美醜……大谷由香

V ―― **仏典とともに生きる女性たち**
写経と女性……前島信也
[column] 堕地獄の諸相――女性の堕地獄と救済……南宏信

VI ―― **僧と家族／僧の家族**
僧の女犯・妻帯と清浄性
――「僧の家」と女人禁制をめぐって……坪井剛
僧の妻の系譜、坊守の系譜……板敷真純

（おおたに・ゆか）龍谷大学文学部特任准教授。専門は日本仏教・戒律思想。主な論文に「東アジアにおける二百五十戒の実践―新出資料・元照撰『摂戒種類図』を通じて」（木俣元一・近本謙介編『宗教遺産テクスト学の創成』勉誠出版、二〇二三年）、「通受の背景」（近本謙介編『ことば・ほとけ・図像の交響―法会・儀礼とアーカイヴ』勉誠出版、二〇二二年）、「中世律宗の復興の中の行基」（『論集東大寺と行基菩薩（ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集）』二〇二〇年）などがある。

書　名	冊数
性なる仏教 大谷由香〈編〉 定価3,080円・本体2,800円 A5判並製カバー装・208頁 2025年2月刊行 ISBN978-4-585-32546-8 C1315 [アジア遊学 No.300]	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

描かれた法華経

本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空

アジア遊学301

原口志津子［編］

富山本法寺に伝わる重要文化財「法華経曼荼羅図」は二十二幅一具という規模を有する。その内容は法華経の経文や注釈書に基づく場面ばかりではなく、説経や説話に基づく図像も含み、十四世紀の心性や文化を今に伝える貴重資料である。豊富な画像情報には、建築や仏像・仏画を制作する場面や法要、舞楽のほか、牛耕、田植え、稲刈り、製油、製薬、鍼灸、風呂・湯屋、鉱脈ダウジング、井戸掘り、商売、物見遊山、草履作りなどの風俗描写が含まれており、「一遍聖絵」に匹敵する鎌倉時代末期の絵画資料として、近年諸分野からの注目を集めている。本書では、美術史研究のみならず、国文学や歴史学の視点より本法寺本を多角的に考究。その所蔵流転を明らかにし、鎌倉時代末期の律僧の活動として、本法寺本を位置づけ、さらには本法寺本に描かれた説話内容を通じて学僧の世界と在俗者の交流実態を明らかにする。

定価 **3,300** 円
（本体 3,000 円）

A5判並製カバー装
232頁（口絵8頁+本文224頁）
ISBN 978-4-585-32547-5　C1315
2025年3月刊行

［目次］

刊行に寄せて◎**原口志津子**

Ⅰ　本法寺本の伝来・史的位置づけ

明応の政変と本法寺蔵「法華経曼荼羅図」◎**松山充宏**
足利義材と五山派禅宗寺院の人事◎**高鳥　廉**

Ⅱ　本法寺本の美術史的位置づけ

本法寺蔵「法華経曼荼羅図」に見る浄土のイメージ――宝樹を中心に◎**鴈野佳世子**
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」と版本細字法華経――構図と図様の比較から◎**小林知美**
中世律宗絵画としての本法寺蔵「法華経曼荼羅図」◎**瀬谷　愛**
「一遍聖絵」にみられる法華経経意絵的モチーフについて◎**五月女晴恵**
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」に見る龍女と金翅鳥の図像ほか二、三の問題◎**原口志津子**

Ⅲ　説話の宝庫としての本法寺本

本法寺蔵「法華経曼荼羅図」における絵画化されるテクストの位相◎**本井牧子**
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」薬草喩品第五における救済のモチーフ◎**小林直樹**
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」描き起こし図作成レポート◎**石崎誠和**

編集後記◎**原口志津子**

［編者プロフィール］

原口志津子（はらぐち・しづこ）
奈良大学部文学部教授。
専門は日本中世説話画、法華経絵。
主な著書に『富山・本法寺蔵法華経曼荼羅図の研究』（法藏館、二〇一六年）、『本法寺蔵法華経曼荼羅図――法華経をめぐるイメージの世界』（法藏館、二〇二四年）、論文に「吹抜屋台」について――源氏物語絵巻を中心として」（京都大学大学院文学研究科編『世界の中の「源氏物語」』、臨川書店、二〇〇九年）などがある。

書　名	部数
描かれた法華経 本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空【アジア遊学301】 **原口志津子**［編］ 定価3,300円（本体3,000円） A5判並製カバー装 232頁（口絵8頁+本文224頁） ISBN978-4-585-32547-5 C1315 2025年3月刊行	部

ご送付先（氏名・住所・電話番号）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本史（中世）・仏教・文学・美術・文化史

近日刊行!!

日本中世の宗教世界

現代の我々の想像を遙かに超えて、
中世の日本は、宗教的なものに満ちた世界であった。
それは、単に神仏への信仰という観念的なことでなく、
何らか〈聖なるもの〉の存在や働きを、
日常に身体感覚を通じて直接に受けとめたり、
反対に人から何者かへ訴え、
働きかけるダイナミックな〈冥と顕〉の相互の交信が、
絶えず繰り広げられていた世界だったのである——。
各地に伝存する多種多様な寺院資料を紐解き、
また、文学・絵画・建造物・芸能といった
諸メディアとの連環をとらえ、
中世日本における豊饒な宗教的世界観を
立体的かつ通史的に描き出す必読の書。
学界を領導する十八名の研究者による
最先端の研究状況をまとめて一冊で知ることの出来る
中世日本の社会・思想・文化を考えるための
充実のレファレンスツール！

聖徳太子二歳像

阿部泰郎〈監修〉
龍谷大学文学部客員教授
名古屋大学高等研究員客員教授
専門は中世文学、宗教テクスト文化遺産学

佐藤愛弓・牧野淳司〈編〉
大谷大学文学部教授
専門は中世文学、説話文学
明治大学文学部教授
専門は中世文学

序論　本書の構成とみどころ……佐藤愛弓・牧野淳司

第Ⅰ部　中世宗教テクストの生成

一・思想——日本中世をどう見るか
思想史の中世……末木文美士
神祇の歴史から考える中世前期における神と仏の関係性……岡田荘司
二・法会——宗教の社会的・歴史的意義
歴史学から仏教儀礼を読み解く——法会・修法のかたちとその変遷を考える……上島享
法会の場——内論義の会場をめぐって……山岸常人
三・僧侶——時代・社会とどう向き合うか
中世日本の表現主体が創出する宗教世界——貞慶と慈円の楕円宗教空間……阿部泰郎
目を閉じて坐禅をした明恵上人……高橋秀栄
東大寺資料からみる寺院資料生成論——宗性撰述聖教と交衆・遁世……横内裕人
四・文庫——聖教の集積と伝来
秘匿と流伝の法流形成——鎌倉時代勧修寺流の展開について……佐藤愛弓
称名寺聖教の形成と劔阿……高橋悠介
大須文庫の生成——真福寺創建期歴代の活動とその周辺……三好俊徳

第Ⅱ部　よみがえる中世の宗教世界

一・宗教空間の創出
大峯信仰史の創出——「大菩提山生土要事」をめぐって……川崎剛志
中世宗教空間を創りだす宣陽門院——その宗教的主体性を中心に……阿部美香
二・神と仏の姿
受肉するカミ——垂迹信仰と生身信仰の接合……伊藤聡
観音・媽祖・マリア——日中欧の交流と女神のメタモルフォーシス……松尾恒一
三・文芸への広がり
西行和歌と神仏習合儀礼——伊勢神宮詠「深く入りて」をめぐって……舩田淳一
六道釈と『平家物語』『祇園精舎』……牧野淳司
四・絵画への広がり
愛執の図像学——中世説話画に描かれた愛と発心……山本聡美
「真宗系」・「南都系」聖徳太子絵伝の再検討……村松加奈子

刊行にあたって……阿部泰郎
編集後記……佐藤愛弓・牧野淳司

定価9,350円・本体8,500円
A5判・並製カバー装・584頁
2025年5月刊行
ISBN978-4-585-31021-1 C3014

書　名	冊数
日本中世の宗教世界 阿部泰郎〈監修〉佐藤愛弓・牧野淳司〈編〉 定価9,350円・本体8,500円 A5判・並製カバー装・584頁 2025年5月刊行 ISBN978-4-585-31021-1 C3014	冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025